

博士論文審査結果報告書

2021 年 8 月 4 日

論文提出者	論文審査担当者
専攻領域 リハビリテーション科学領域	審査委員（主査） 備酒 伸彦
専攻分野 神経・運動機能リハビリテーション学分野	審査委員（副査） 藤原 瑞穂
氏名 原田 美由紀 (9718103)	審査委員（副査） 岩井 信彦
論文題目 支持側の肩関節外転角度の違いによる片肘立ち位を経由した起き上がり動作の定量的解析	
<p>審査結果</p> <p>本研究・本論文は、題目に示す動作について、三次元動作解析システムと床反力計を用いて客観的なデータを取得・解析し、それらに基づいて健常者における標準的なモデルを構築し考察を加えたものである。</p> <p>起き上がり動作は日常生活活動の起点となるもので、リハビリテーションの場面で注目度の高い基本動作であるが、その動作について客観的なデータに基づいて分析した研究は散見するにとどまる。</p> <p>本研究はその点で新規性を有するものである。一方で、データ取得に際しての条件設定、データ解析の一部について不十分な点があることも否めない。その点を負の側面として評価しながらも、本研究において次の3点が明確化されたことは意義深い。</p> <p>① 一定の条件下での起き上がり動作について標準的なモデルを示すことができた。</p> <p>② 起き上がり動作について身体各部位の効率的な動きを客観的に示すことができた。</p> <p>③ ①と②から、臨床的に意義深い知見を示すことができた。</p> <p>これら3点に加え、本研究で得られたデータと知見は、今後の基本動作分析の一つの指標となるものと考えられる。</p> <p>以上のことから、本論文は博士論文として適であると判定される。よって、論文提出者は、博士の学位を得る資格があると認める。</p>	

審査委員（主査）

署 名

備酒伸彦印